

2021年1月8日
宮越ホールディングス株式会社

ワールド・イノベーション・センター(WIC)開発構想進捗

一昨年ブルームバーグ社から配信された弊社代表へのインタビュー記事は、その後ジャパン・タイムスにも掲載され、国内外の大手優良企業やスタートアップ企業から高い反響と関心が寄せられました。

その後、日本経済新聞社から「売上高営業利益率7割超、高収益企業の秘密」として取材を受け、日経産業新聞紙上(2019年11月22日付)に当 WIC プロジェクトが紹介されました。こちらも掲載後、イノベーションを推進する上場企業等から開発構想について多くの問い合わせを頂きました。

また、中国政府の動向としては、広東省・香港・マカオを巨大経済圏として、イノベーション水準と経済力を大幅に引き上げる「大湾区(グレートベイエリア)」構想を発表し、中心都市となる深圳市は国際的にもその役目がクローズアップされてきています。

さらにその後中国政府が「深圳における中国の特色ある社会主義先行モデルエリア建設の支援に関する意見」を発表、深圳市を今世紀中ごろまでにイノベーションと法治、文化、民生、環境保護などの面で国際的に手本となる都市に発展させることとしました。これを受け同市はさらに発展を加速させていきます。

WIC への企業誘致の進捗も、コロナ禍により日本企業のビジネス環境が激変するなか、5年・10年先を見据えた企業のなかから深圳 WIC で新技術や新事業を創り出したいと、多数の大手優良企業から進出意向書の提出を受けました。そのなかには時価総額1兆円以上の企業やイノベーションを積極的に進める大手企業もいます。なお企業誘致実績は、今日迄に上場企業を中心に70社を超え検討中の企業も76社にのぼります。

深圳市側との開発協議については、深圳のイノベーションモデルとなる開発基本構想を、細部にわたりさらに詰める作業を行っています。

平井卓也デジタル改革担当大臣との会談

平井卓也大臣は、2018年5月自由民主党 IT 戦略特命委員長当時、世界トップレベルのデジタル技術を誇る深圳市をいち早く訪問され、大手IT企業との重要なミーティング等公務をこなされるなか、同委員会幹部である衆議院議員の方々及び日本政府機関関係者を伴い、わざわざ当イノベーション・センター開発予定地視察及び弊社現地法人幹部との会議に出席頂きました。

席上平井大臣からは、深圳の中心部に12万7千㎡、東京ドーム約3個分の土地を御社が保有し、これをアジア No.1 イノベーション・センターへと再開発する構想は大変素晴らしい、深圳に進出する日本企業の為に最高のプロジェクトを完成させてほしい」と激励を受けました。

その後弊社では、深圳市の委嘱を受けおこなっている日本企業の誘致業務に加え、さらに諸外国の大手優良企業の誘致業務を進めていきます。

昨年11月、宮越代表は平井デジタル改革担当大臣と会談、WIC開発構想及び企業誘致のその後の進捗状況を報告するとともに、本プロジェクトを通しデジタル敗戦と言われている日本のデジタル改革と日本企業のイノベーション進展に寄与したい、との考えを伝えました。

平井大臣からは「時価総額が1兆円以上の大手企業誘致、深圳市側との協議が進んでいる事を歓迎、貴社のイノベーション・センターがデジタル改革進展と日本企業の国際競争力強化に貢献できることを期待している」との激励を頂きました。



於：平井大臣執務室 2020年11月



於：深圳現地法人本社 2018年5月

以上

- 次回以降：
- ・WIC 開発構想(弊社宮越代表)
 - ・WIC 開発構想に伴う収益モデル(弊社宮越代表)
 - ・中国商務部・中日投資促進委員会、日中投資促進機構との協力関係構築